

もとおり ながよ
♪ 本居 長世 (1885-1945)

明治から大正にかけて童謡を数多く作曲、親子連れで各地を演奏して回り童謡を普及させた“日本童謡の祖”と称される作曲家。

■代表曲

「赤い靴」「お山の大将」「十五夜お月さん」「七つの子」

■こんな人物

江戸時代の国学者、本居宣長（のりなが）の正系で6代目に当たる。祖父は同じく国学者の本居豊穎（とよかひ）。生後1年で母と死別、父も家を去ったため祖父母に育てられた。多感な時期にお家騒動に巻き込まれた長世は、家学を継承せず音楽の道に進み、東京音楽学校を首席卒業した。そのまま母校で邦楽調査掛の職に就き、長唄など三味線音楽の調査研究に当たった。大正9年（1920）、東京の劇場で「新日本音楽演奏会」が開かれた。長世の指揮の下、わずか8歳の長女みどりが管弦楽の伴奏にのせて童謡「十五夜お月さん」を独唱する。童謡歌手第一号の誕生であった。当時、子どもが単身、大人の演奏家と同等の立場で歌うという表現は斬新で、新たな日本音楽の形成を促す起爆的役目を果たした。

■生没年

明治18年（1885）東京御徒町生まれ。没年は昭和20年（1945）。享年60歳。東京、谷中霊園に祖父、母らと眠る。

♪♪ 参考文献

- ・『本居長世：日本童謡先駆者の生涯』松浦良代著 国書刊行会 2005 [762.1/215]
- ・『「金の船」ものがたり』小林弘忠著 毎日新聞社 2002 [911.58/120]
- ・本居宣長記念館 HP 「本居長世」

http://www.norinagakinenkan.com/norinaga/kaisetsu/motoori_nagayo.html